

平成 19 年 4 月 27 日

定期検査中の 3 号機タービン建屋海水ストームサンプルピットへの
水の流入について

東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

定期検査中の 3 号機において、空気圧縮機*¹の冷却水（非放射性）を海水ストームサンプタンク*²で受けていたところ、平成 19 年 4 月 26 日午前 8 時 21 分頃、同タンクの水位が高くなったことを示す警報が発生しました。

その後、同日午前 8 時 34 分頃、当直員がタービン建屋地下 2 階の現場を確認したところ、同タンクから溢れた水が海水ストームサンプルピット*³へ流れ込み滞留していること、また、同タンクの排水ポンプが自動起動し、タンク内の水位が下がっていることを確認しました。

海水ストームサンプルピットに滞留した水は約 1,600 リットルで、同日、回収いたしました。

今後、原因について詳細に調査します。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 1 : 空気圧縮機

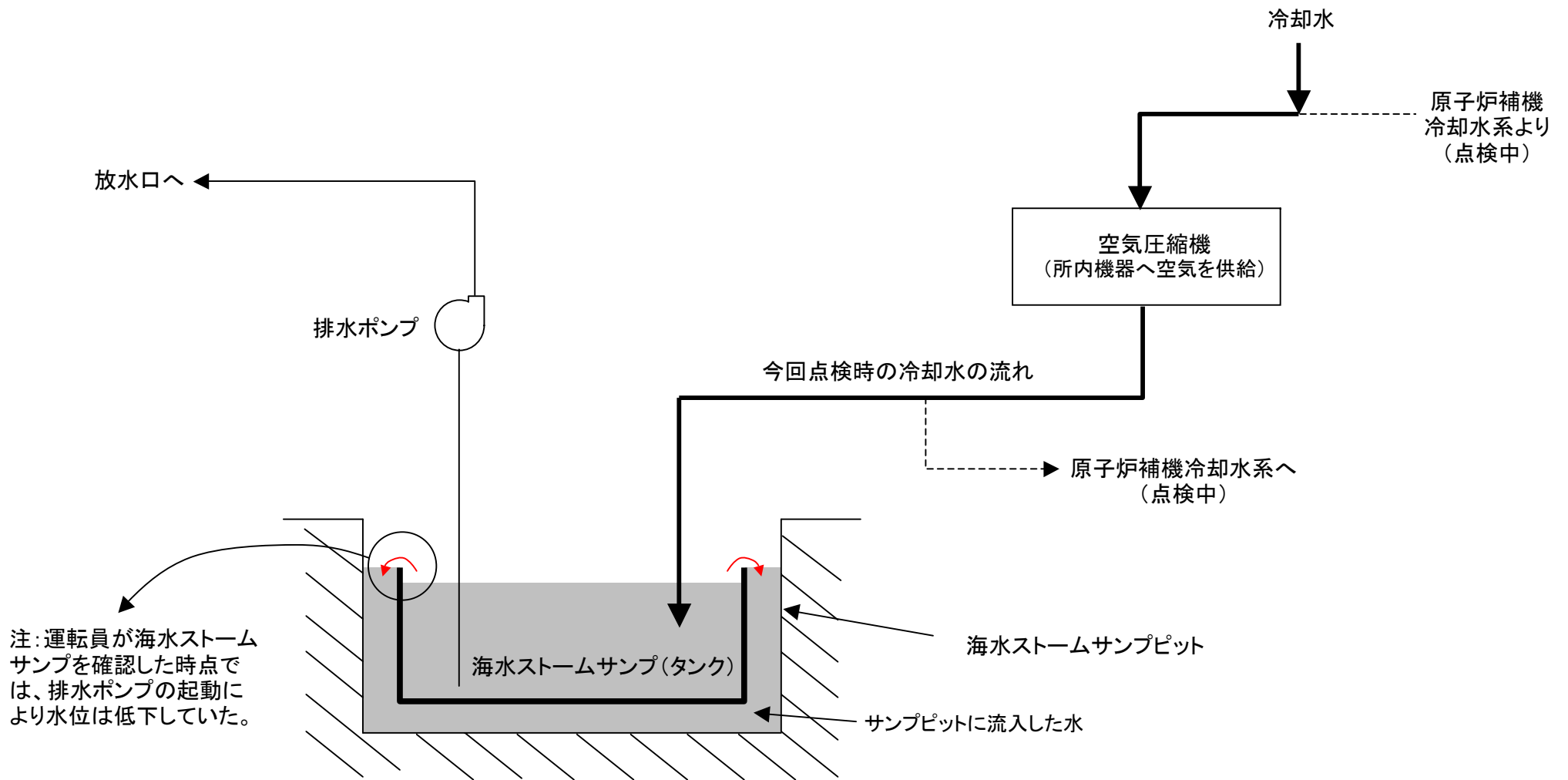
空気作動工具、機器の洗浄、フィルタの逆洗およびタンクのかく拌等の空気を供給する設備。

* 2 : 海水ストームサンプタンク

タービン建屋内の復水器冷却水に使用される海水および各建屋内の機器からの非放射性の排水等を受けるためのタンク。

* 3 : 海水ストームサンプルピット

海水ストームサンプタンクより溢れた水を受けるために、同タンク周りに設置された枡（ます）。



← : 流入経路

系 統 概 略 図